

# KN グローカルリサーチレポート

2018年3月  
No.23



平昌オリンピック、日本は過去最多のメダルを獲得しました。選手の心の葛藤や逆境を跳ね返す強い精神力に元気をもらい、勝つためにあえて裏方となった選手に感動しました。これからパラリンピックが始まります。障害を乗り越えて挑戦する選手に声援を送りたいと思います。

## 日本には、過去最高の外国人が在留

法務省によると平成 29 年 6 月末現在における在留外国人数は 247.1 万人と、前年末に比べ 8.8 万人増え（対前年末 3.7 % 増）、過去最高となった。国籍・地域別では、中国が最も多く 71.1 万人（28.8 %）、韓国 45.3 万人（18.3 %）、フィリピン 25.2 万人（10.2 %）、ベトナム、ブラジル、ネパール、米国、台湾、タイ、ペルーの順となっており、その中でも、ベトナム（対前年末 16.3 % 増）とネパール（同 10.1 % 増）の増加率が高い。

在留外国人数が最も多いのは東京都の 52.1 万人で（全国の 21.1 %）、愛知県 23.4 万人（同 9.5 %）、大阪府 22.3 万人（同 9.0 %）と続き、静岡県は 8.3 万人（同 3.4 %）となっている。

### 【外国人は、静岡県西部地方に多い】

静岡県内では、浜松市が最も多く 22,965 人で、静岡市 9,097 人、磐田市 7,279 人などとなっており、静岡県西部地域に県内外国人の約半数が住んでいる。

各市の全人口に占める外国人の割合は、菊川市が最も高く 6.13 % で、湖西市 4.78 %、袋井市 4.48 %、磐田市 4.27 %、掛川市 3.43 %、牧之原市 3.37 %、浜松市 2.85 % となっている。（参考値＝豊橋市：15,725 人、4.16 %）

■表1 在留外国人数（H30年2月1日現在）

	外国人数	外国人の割合
1. 浜松市	22,965人	2.85%
2. 静岡市	9,097人	1.29%
3. 磐田市	7,279人	4.27%
4. 富士市	5,132人	2.01%
5. 掛川市	4,042人	3.43%
6. 袋井市	3,944人	4.48%
7. 沼津市	3,917人	1.99%
8. 焼津市	3,820人	2.72%
9. 菊川市	2,943人	6.13%
10. 湖西市	2,876人	4.78%
静岡県合計	83,460人	2.23%

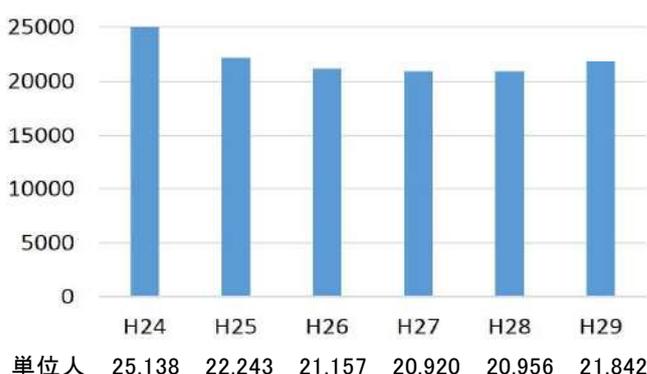
静岡県の統計より作成

### 【浜松居住の外国人 H28年から再び増加へ】

浜松市の外国人数は、平成 20 年 3 月末には 33,326 人となったが、同年秋のリーマンショックによる不況後、減少が続いた。しかし、平成 28 年より再び増加に転じ、平成 30 年 2 月 1 日現在 22,965 人となっている。

中区が最も多く 9,179 人（市全体の 39.9 %）、南区 4,090 人（同 17.8 %）、東区 3,165 人（同 13.8 %）、西区 2,575 人（同 11.2 %）となっいる。

■図1 浜松市の外国人数の推移（各年3月31日現在）



単位人

\*\*\*\*\* 米国視察記 ② ウーバー(Uber) 初乗車 \*\*\*\*\*



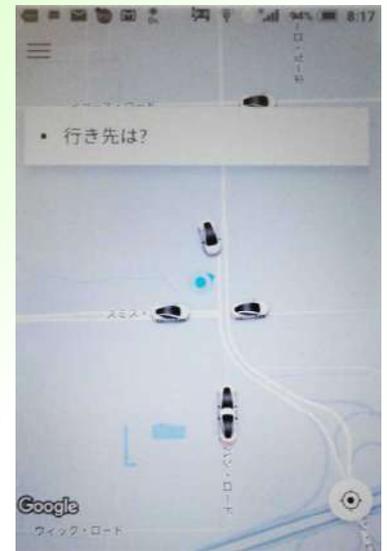
昨秋、米国・デトロイトで「ウーバー(Uber)」を初めて利用した。  
 渡米前に、日本で「ウーバー」のアプリをスマホに入れ、名前や居住地、携帯電話番号やメールアドレス、クレジットカードの番号を登録しておいた。また、「ウーバー」のPCサイト(<https://www.uber.com/ja-JP/>)で利用方法を確認し、「Pool(相乗り)」と「UberX(4人乗り)」「UberXL(6人乗り)」等のタイプがある事を知った。

デトロイトでは、飛行場近くのホテルに泊まった。到着してすぐに気がついたが、周りのホテルを含め、タクシーは皆無。乗り合いバスも走っていない。ホテルのコンシェルジュに「ミッドタウンまで行きたいのでタクシーを呼んで下さい」と頼むと、「ジーザス」との返事。『タクシーはダメなのか・・・』。で、私のスマホを「ウーバー？」と試してみせると、「OK」。早速、アプリを起動するとGoogle地図はデトロイトのホテル周辺にいる数台の車両を表示。一緒に、日本語表示のスマホの画面を見ながら、「Destination?」、「Chose car?」、「UberX」、「\$22.68」・・・「Confirm」。



1分もしないうちに、ホテルの玄関に、表示通りの「ホンダのCIVIC」が到着した。助手席のウィンドーが開いて「Koichiro?」。「Yes」。ドライバーのRickも私の情報を入手しているようだ。

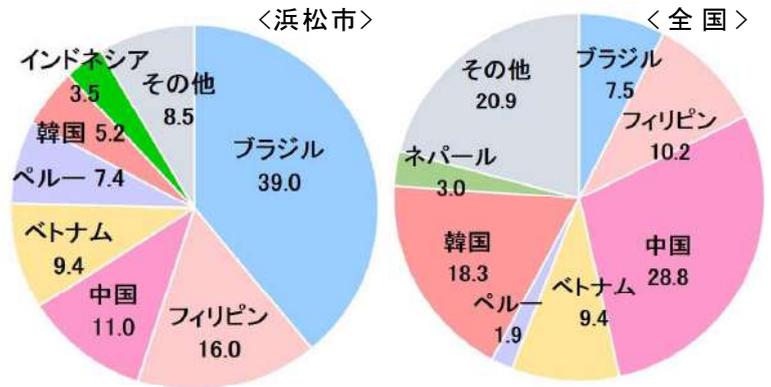
車中、「初めてウーバーを利用した」等々いろいろ話をしながら30分位でミッドタウンに到着。クレジットカード決済なので、現金のやり取りも不要。Rickが「君のこと、5★にしておくね。」と。乗車したお客さんもドライバーから評価される事を知った。(次回に続く)



【浜松は ブラジル人やフィリピン人の割合が高い】

■図2 外国人の国籍別割合

浜松市に登録する外国人を国籍別にみると、平成 29 年 12 月 31 日現在で、ブラジル (8,892 人 39.0 %) が最も多く、フィリピン (3,651 人 16.0 %)、中国 (2,508 人 11.0 %)、ベトナム (2,139 人 9.4 %)、ペルー (1,698 人 7.4 %)、韓国 (1,192 人 5.2 %)、インドネシア (797 人 3.5 %)、ネパール (257 人 1.1 %)、インド (214 人 0.9 %)、タイ (208 人 0.9 %) の順となっており、全国の国籍別割合と異なる。



従来、南米日系人は浜松市や豊橋市、豊田市、群馬県大泉町等の輸送機械や電気機械などの工場が集中する地域をポイントで移動する傾向があったが、近年はそれら地域での定住化が進んでいる。浜松市は 2001 年に外国人集住都市会議を立ち上げて、これらの都市と連携して諸課題の解決に取り組んできた。また、本年は「浜松市多文化共生都市ビジョン」を改定し、『多様性を都市の活力と捉え発展していく地域』などの方向性を定め、「協働」、「創造」、「安心」をキーワードに様々な施策が展開されていく。

執筆 = 西川公一郎：元浜松市議会議員、防災士  
 (公社)子どもの発達科学研究所 事務局長  
 浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org